

授業概要

日本経済が成熟し、かつ低価格を武器とする新興工業国製品に対する市場競争力が低下してきたことによって、日本企業は従来のように生産コスト削減と品質向上という生産現場の努力だけではグローバルな市場競争力を維持できなくなってきた。このような新たな外部環境に対して日本企業は生産現場で「いかに」生産するかだけでなく、「何を」生産するかを考えることが新たな活路を見いだそうとしている。しかし、それは簡単な未知ではない。

本講義では、このような困難に直面としている今日の日本企業の戦略を、「低価格戦略」対「高付加価値戦略」という視点から論じる。

授業計画

第 1 回	はじめに	
第 2 回	狭義の生産管理と広義の生産管理	
第 3 回	低価格戦略とは	
第 4 回	ジャストインタイムシステム（１）	
第 5 回	ジャストインタイムシステム（２）	
第 6 回	人件費の切り下げ	
第 7 回	海外生産	
第 8 回	自動化と産業ロボット	
第 9 回	低価格競争の事例	
第10回	低価格競争の限界（１）	
第11回	低価格競争の限界（２）	
第12回	高付加価値戦略の事例（１）	
第13回	高付加価値戦略の事例（２）	
第14回	高付加価値戦略の限界	
第15回	まとめ	
第16回	期末試験	

到達目標

グローバル化の時代を迎えて日本経済、日本企業が直面している多くの困難な問題について、関心を持つようになり、日々の経済の動きを丹念にフォローできる目を養うこと。

履修上の注意

リアルタイムで経済の動きを見るために、新聞、主要な企業のプレスリリースや報告書を読むように努めて欲しい。

予習復習

配布するプリント等の資料をベースとして、各自で関連のデータや資料を発見するように努めることを求める。

評価方法

基本的に学期末テストにより評価するが、部分的に出席も考慮する。

テキスト

テキストは用いない。参考資料として、ウェブに公開された企業の報告書などを用いる。